

記載例

様式第 15 号の 4 (第 14 条の 4 第 1 項関係)

土砂等受入概要書

① 令和 5 年 6 月 15 日

住所 茨城県〇〇市××番地〇

② 埋立て等を行う者 氏名 〇〇開発 (株)

代表取締役 茨城 太郎

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名)

電話番号 ×××-×××-××××

埋立て等に係る許可や
届出の記載と同様に
記載すること

③ 土地の埋立て等に係る 許可又は届出の年月日	令和 5 年 6 月 12 日	
④ 土地の埋立て等の目的	宅地分譲地造成のための盛土	
埋立て等区域の位置及び 面積	⑤ 位置 茨城県〇〇市×× 外〇筆	⑥ 面積 (実測) 4,200 m ²
⑦ 土地の埋立て等を行う 期間	令和 5 年 6 月 19 日 から 令和 5 年 7 月 28 日 まで	
⑨ 土地の埋立て等に用い る土砂等を発生させる者	住所 〇〇県〇〇市×× 氏名 (株) △△建設 代表取締役 建設 太郎 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名)	
土地の埋立て等に用いる 土砂等の性質及び数量	⑩ 性質 第 3 種建設発生土以上 (黒色、無臭、pH=7 程度、 改良土でないこと)	⑧ 数量 9,600 m ³

埋立て等に係る許可や
届出の記載と同様に
記載すること

土砂等受入概要書の記載方法

記載箇所ごとに、それぞれ次の事項に留意して記載すること。

記載箇所	留意事項
①発行年月日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂等受入概要書を発行した年月日を記載すること。 ○ 土砂等受入概要書は、土地の埋立て等の許可を受け、又は届出をした後に作成することとなる。
②埋立て等を行う者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂等受入概要書の発行者を記載すること（押印不要）。 ○ 土砂等受入概要書の発行者は、土地の埋立て等の許可を受け、又は届出をした方（法人含む）である。
③土地の埋立て等に係る許可又は届出の年月日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 埋立て等に係る許可や届出の記載と同様に記載すること。
④土地の埋立て等の目的	
⑤埋立て等区域の位置	
⑥埋立て等区域の面積	
⑦土地の埋立て等を行う期間	
⑧土地の埋立て等に用いる土砂等の数量	
⑨土地の埋立て等に用いる土砂等を発生させる者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂等受入概要書の交付先を記載すること。 ○ 複数の発生元から土砂等を受け入れる場合、全ての発生元に対して交付する必要がある。 ○ 発生元が複数の場合でも、この欄には交付先の一者（社）のみを記載すれば差し支えない。 （A、B と 2 つの発生元から受け入れる場合、A 宛てには A を記載したものを、B 宛てには B を記載したものを交付すればよい。） ○ スtockヤードや土砂等の仮置き場（建材店の敷地での仮置きを含む）を経由した土砂等を用いる場合、当該経由地は土砂等の発生元には当たらないので、経由前に元々土砂等を発生させた者及び発生の場所（元の土砂採取場や掘削工事現場等）を記載すること。 ○ ホームセンター等の小売店で、袋詰めでない（量り売りの）土砂等を購入した場合、土砂等を発生させる者ではなく当該ホームセンター等を記載しても差し支えない。 この場合、土砂等受入概要書は、土砂等の購入元であるホームセンター等に対して交付すること。
⑩土地の埋立て等に用いる土砂等の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのような土砂等を埋立て等に用いるかを記載すること。 ○ 具体的には、土砂等の①色、②硬さ、③臭い、④水素イオン濃度指数（pH）、⑤改良土かどうか——などを記載すること。 ○ 硬さについては、コーン指数で記載するほか、「第〇種建設発生土」のように記載しても差し支えない。 ○ 県の許可基準に適合する土砂等を使用する場合、「茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例第7条第1号に規定されている基準に適合する土砂等」と記載することで、どのような土砂等を用いるのかを明らかにする方法でも差し支えない。